
個人投資家さま向け会社説明会



(東証1部、札幌証券コード:8377)

平成29年7月

1. 当社グループご紹介

2. 29年3月期 決算概要

3. 各種取り組み

4. 30年3月期業績予想

5. コーポレート・ガバナンス

6. 参考資料



設立 : 平成15年
 本店所在地 : 富山市
 資本金 : 708億円
 自己資本比率 : 9.43%
 格付 : A (R&I)

地方銀行 総資産ランキング

	総資産 (単位: 億円)	
1位	コンコルディアFG	187,399
2位	ふくおかFG	181,130
3位	めぶきFG	161,244
4位	千葉銀行	140,957
5位	ほくほくFG	124,294

※各行決算短信より当社作成(連結ベース)



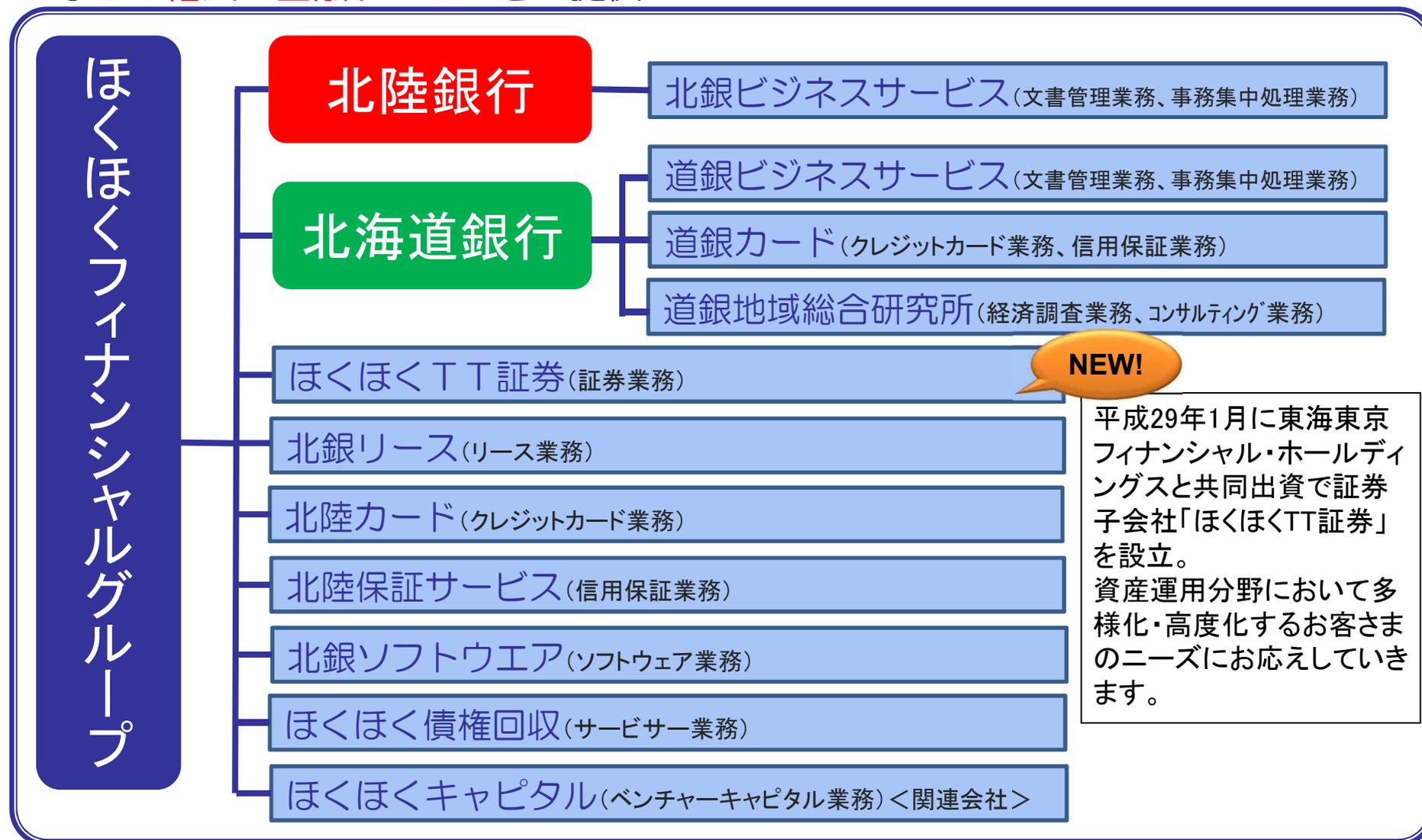
設立 : 昭和18年
 (創業明治10年)
 本店所在地 : 富山市
 店舗数 : 国内186(支店145・出張所41)
 海外6
 従業員数 : 2,770人
 資本金 : 1,404億円
 自己資本比率 : 8.74%
 格付 : A (R&I) ・ A- (S&P)



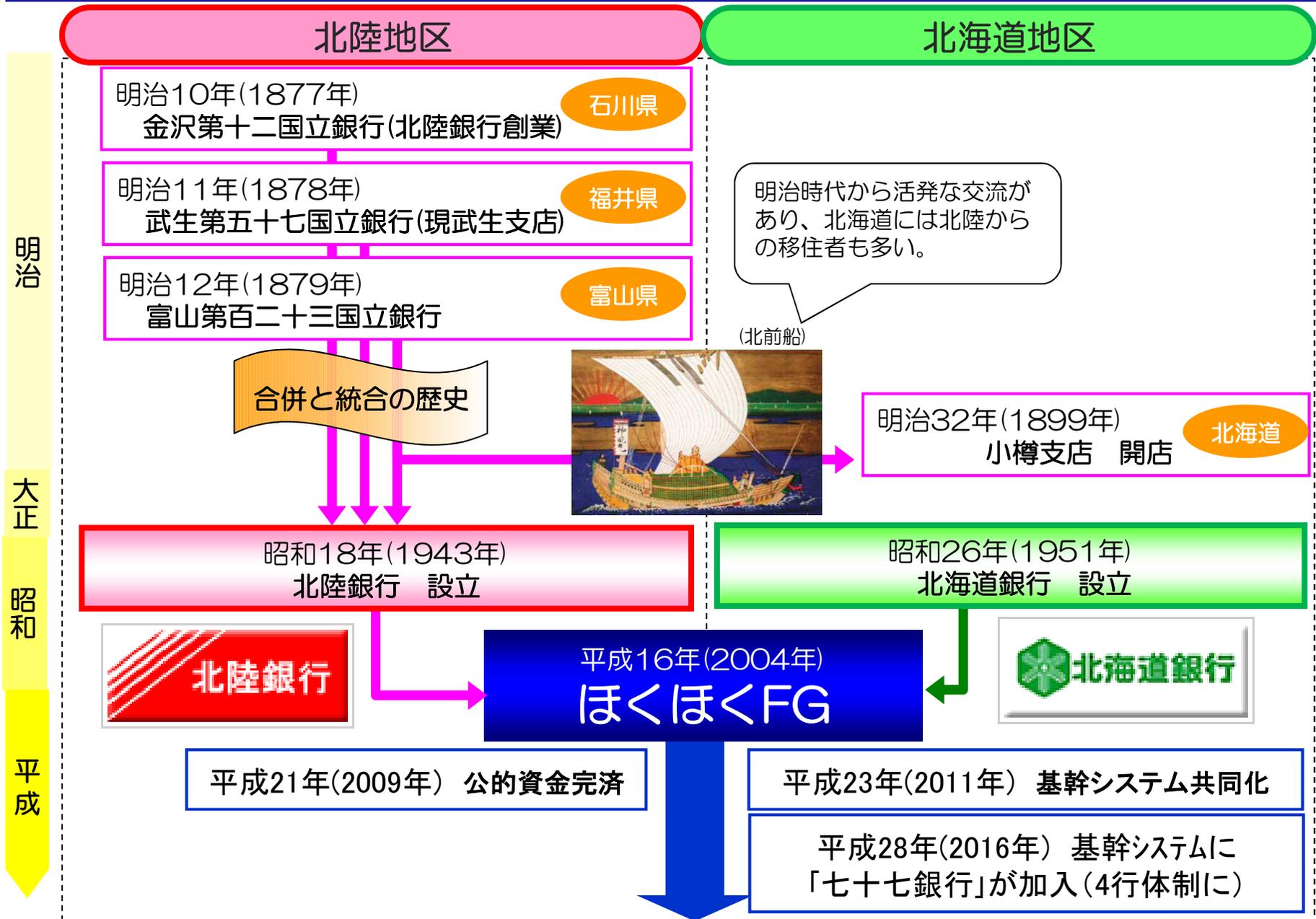
設立 : 昭和26年
 本店所在地 : 札幌市
 店舗数 : 国内142(本支店136、出張所6)
 海外3
 従業員数 : 2,249人
 資本金 : 935億円
 自己資本比率 : 9.34%
 格付 : A (R&I) ・ A (JCR)



- 連結子会社 12社および関連会社 1社の総合金融グループ
- 銀行業務を中心に証券業務、リース業務、クレジットカード業務、信用保証業務などの幅広い金融サービスをご提供



ほくほくFGの歩み

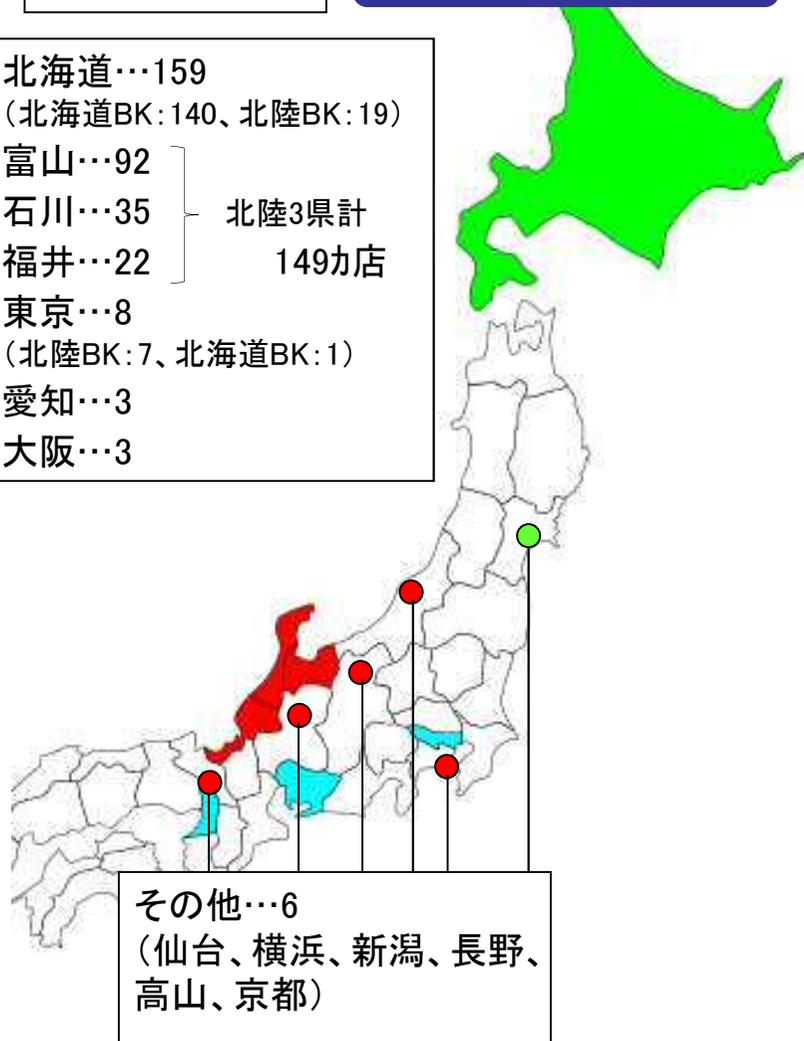


国内・海外の拠点

国内拠点

国内合計 328カ店

北海道…159
(北海道BK:140、北陸BK:19)
富山…92
石川…35
福井…22 } 北陸3県計 149カ店
東京…8
(北陸BK:7、北海道BK:1)
愛知…3
大阪…3



海外拠点



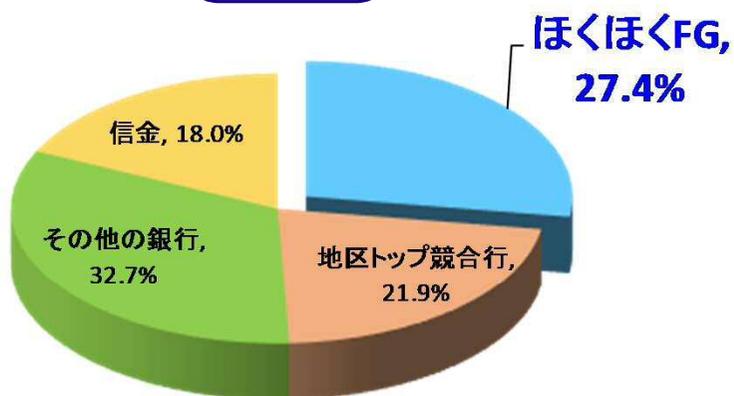
<駐在員事務所>

- | | |
|----------|-------------|
| ① ニューヨーク | ⑥ 大連 |
| ② ロンドン | ⑦ 瀋陽 |
| ③ バンコク | ⑧ ウラジオストク |
| ④ シンガポール | ⑨ ユジノサハリンスク |
| ⑤ 上海 | |

➤ 北陸3県で預金・貸出金ともにトップ、北海道で第2位のシェア

北陸地区

貸出金

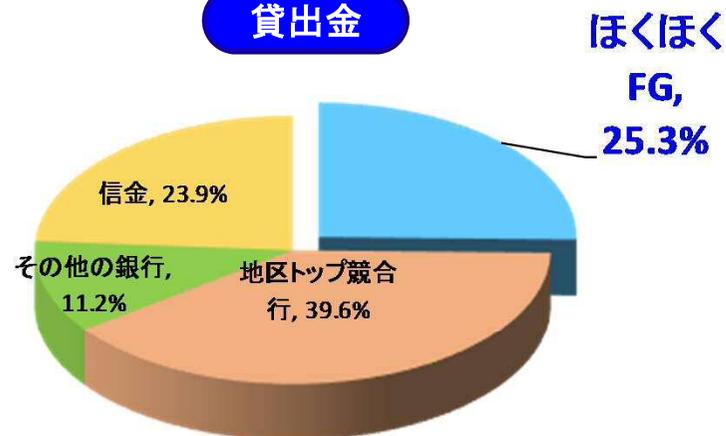


預金



北海道地区

貸出金



預金



※ 日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、北海道財務局「北海道金融月報」、信金中金 地域・中小企業研究所「信金中金月報」、ニッキン資料より当社にて作成

1. 当社グループご紹介

2. 29年3月期 決算概要

3. 各種取り組み

4. 30年3月期業績予想

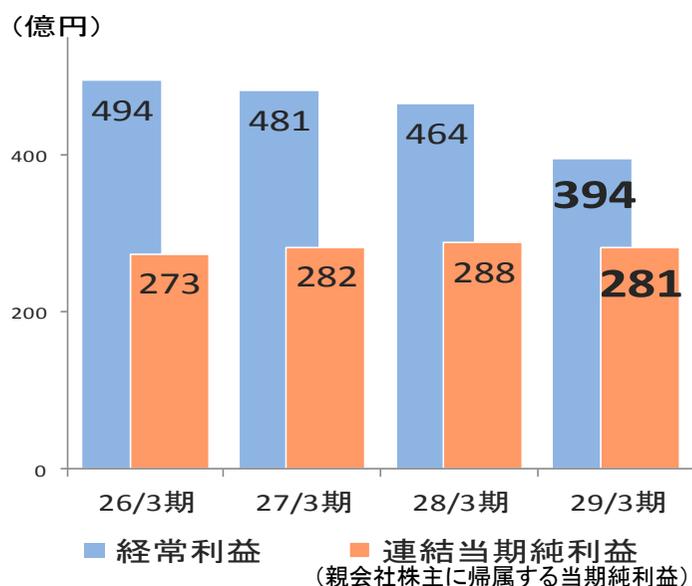
5. コーポレート・ガバナンス

6. 参考資料

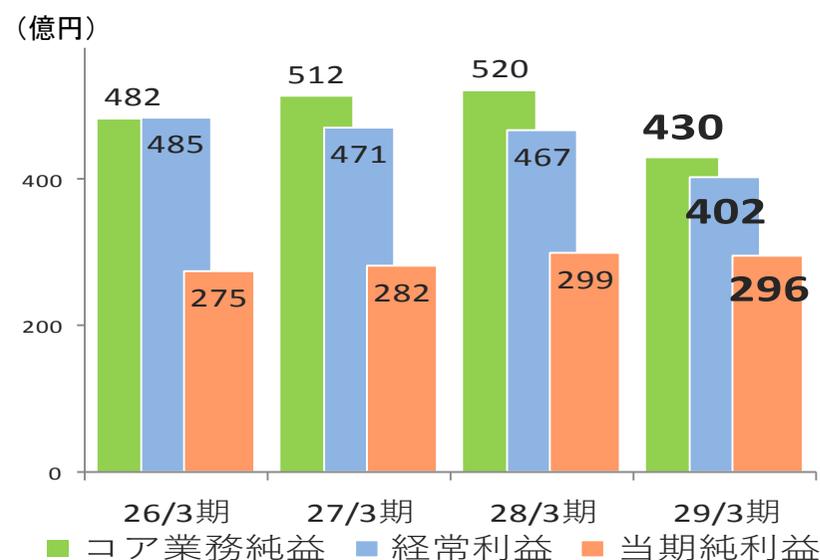
損益

➤ **連結当期純利益**(親会社株主に帰属する当期純利益)は、業績予想を上回る**281億円**を確保し、**1円50銭増配**(44.00円配当)

損益<フィナンシャルグループ連結>



損益<北陸銀行・北海道銀行2行合算>



株主還元・配当

	(円)			
	23/3~25/3期	26/3期	27/3~28/3期	29/3期
	37.50	40.00	42.50	44.00

<自社株買い実施>

28年7月 3,000万株 取得価格総額35.8億円

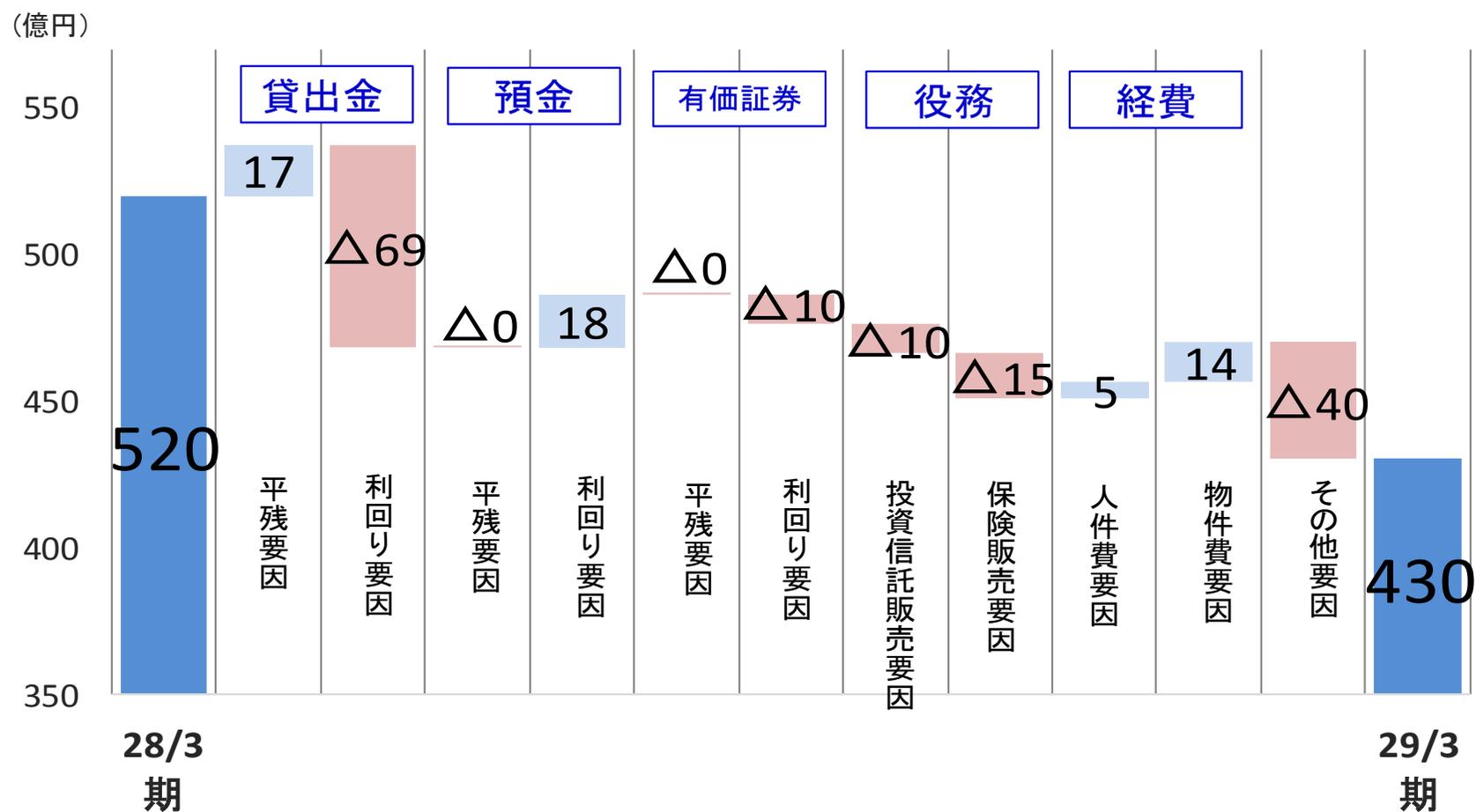
<株式併合>

平成28年10月1日を効力発生日として「普通株式10株を1株とする株式併合」を実施しております。(左表の配当実績は過年度と比較のため「併合後の1株当たりの配当金額」で記載)

コア業務純益増減要因

- コア業務純益は、貸出金の利回り低下要因が大きく、預金利払いの減少や経費削減でカバーしきれず**前期比89億円減少**

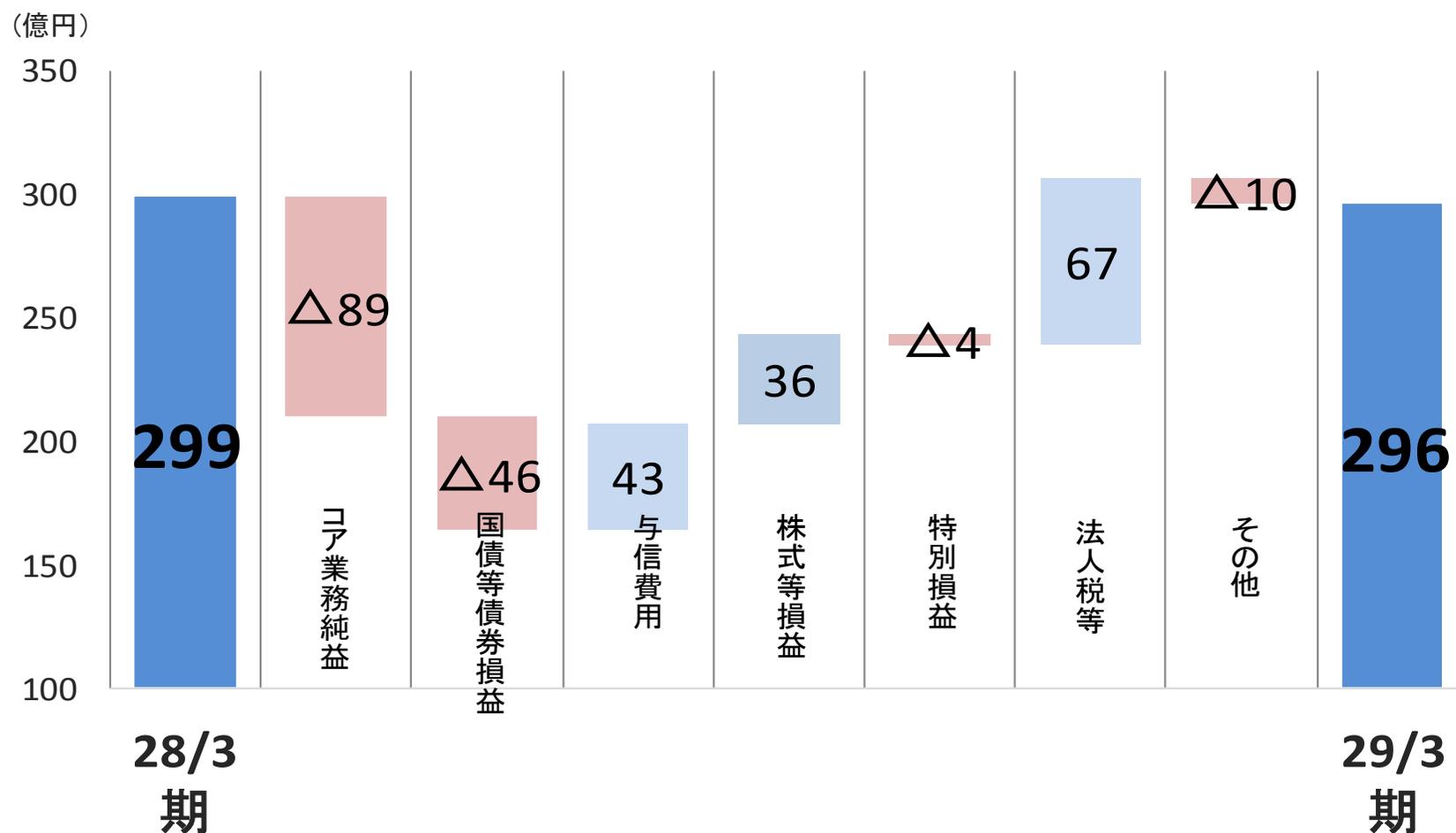
コア業務純益 増減要因<北陸銀行・北海道銀行2行合算>



当期純利益増減要因

- ▶ 当期純利益は、コア業務純益の減少分を与信費用の減少、株式等損益の増加、法人税等の減少により補い、**前期並みの296億円**

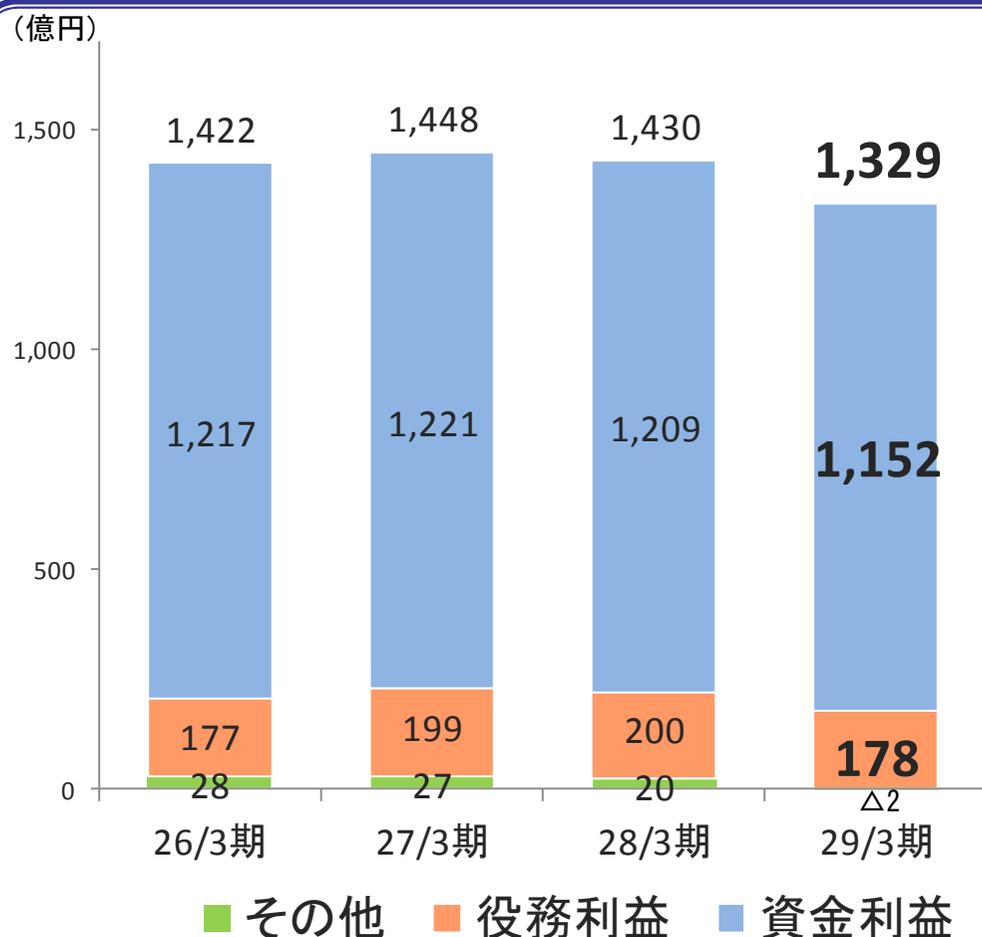
当期純利益 増減要因<北陸銀行・北海道銀行2行合算>



コア業務粗利益

- 資金利益は、1,152億円、前期比△56億円
- 役務利益は、178億円、前期比△21億円

コア業務粗利益<北陸銀行・北海道銀行2行合算>



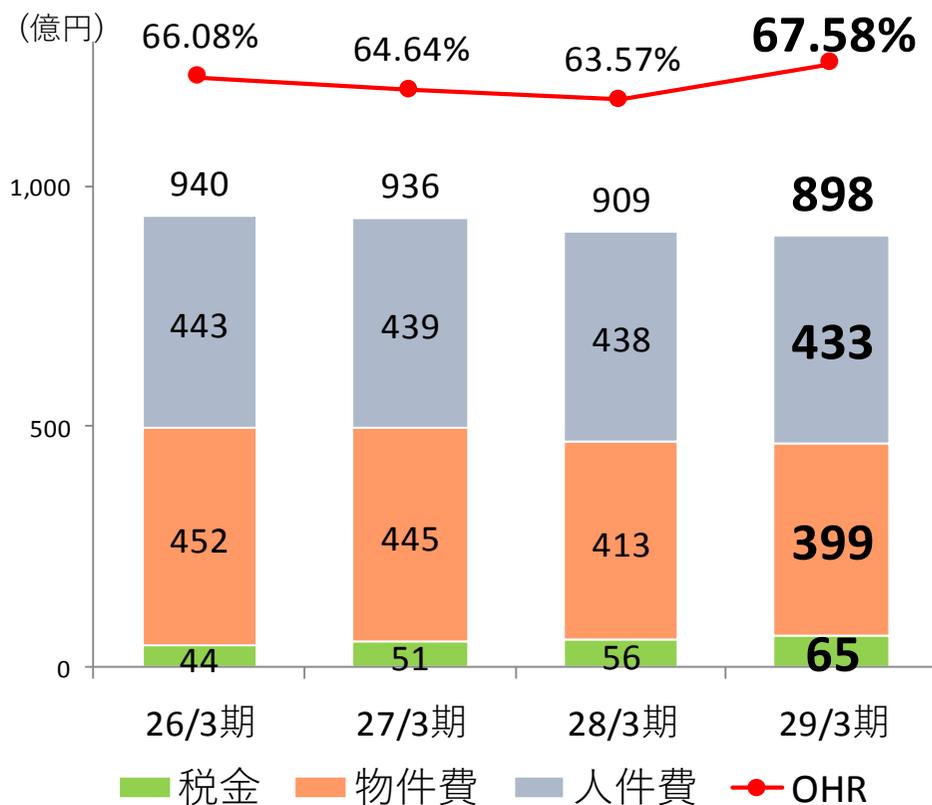
【増減要因】

- ・ 資金利益
 ～貸出金利息の減少
 有価証券利息配当金の減少
- ・ 役務利益
 ～投資信託販売手数料の減少
 保険販売手数料の減少
- ・ その他利益
 ～外国為替売買損益の減少

経費

- 経費は、物件費他の減少により**前期比△10億円**
- OHRは、経費が減少したものの、コア業務粗利益の減少により**前期末比4.01ポイント上昇**

経費<北陸銀行・北海道銀行2行合算>



【増減要因】

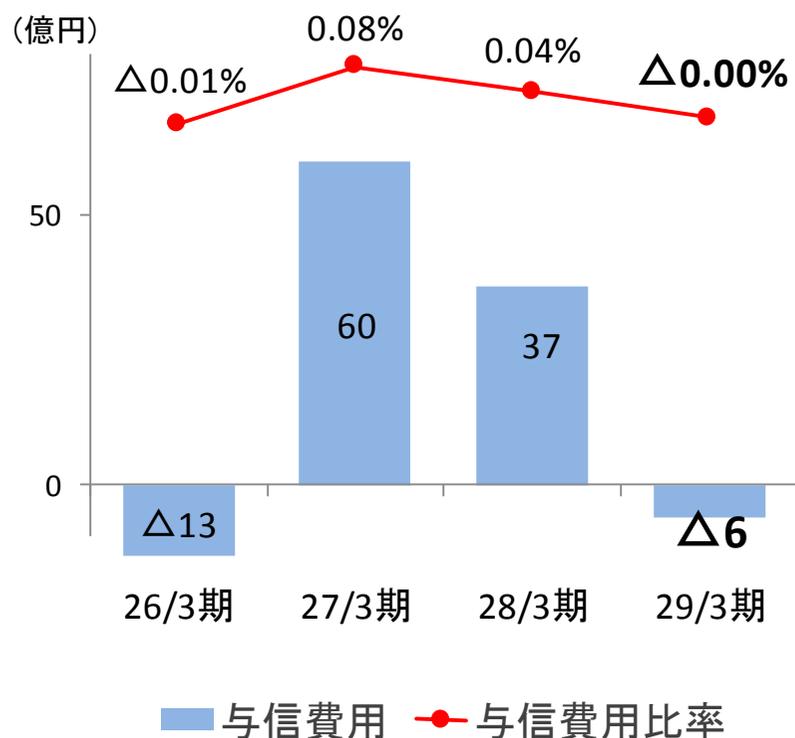
- ・人件費 前年比△5億円
～退職給付費用の減少
- ・物件費 前年比△14億円
～減価償却費の減少
- ・税金 前年比+8億円

※OHR=経費÷コア業務粗利益

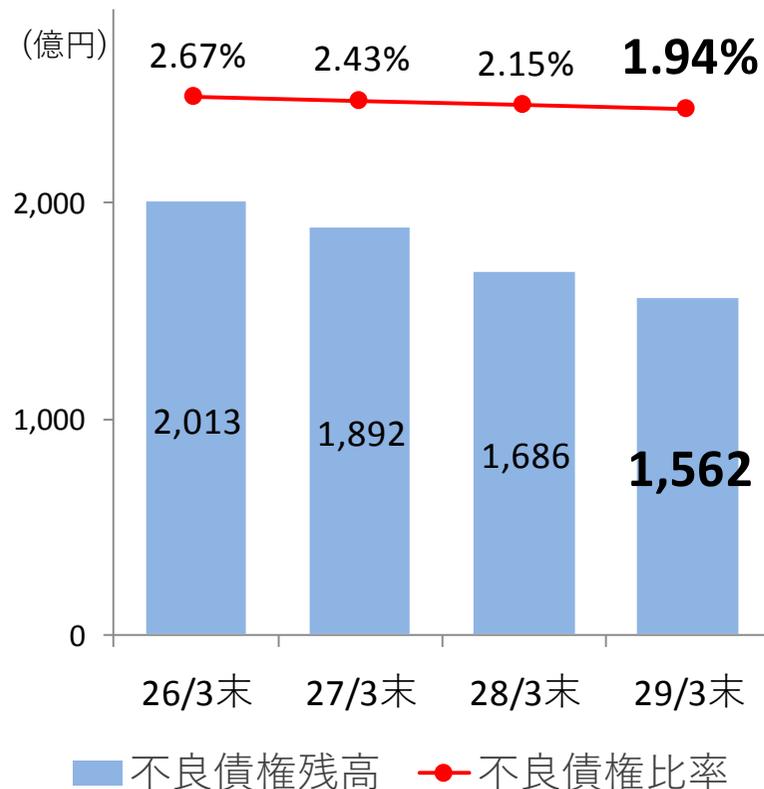
与信費用・不良債権

- 与信費用△6億円、与信費用比率△0.00%、前期比43億円減少し**戻り益**
- 不良債権残高は前期末比△124億円、不良債権比率は**0.21ポイント改善**

与信費用・比率<2行合算>



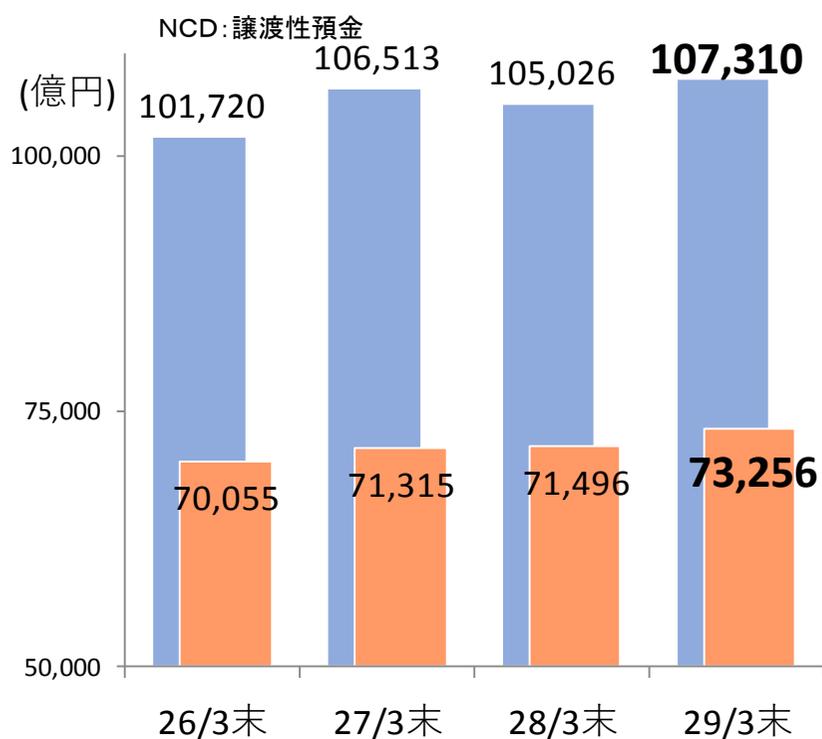
不良債権残高・比率<2行合算>



預金・貸出金

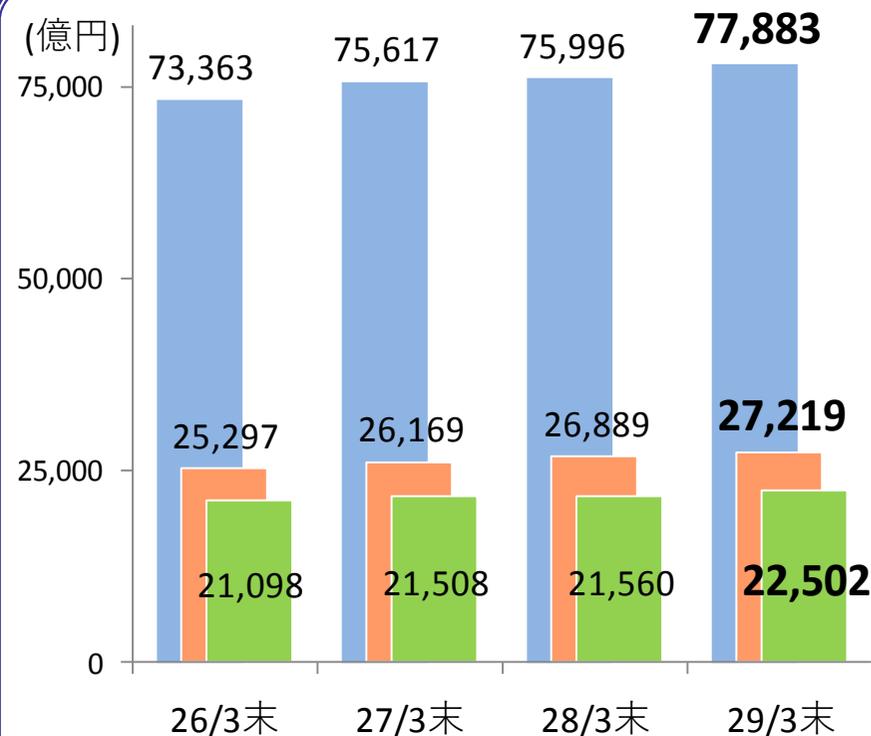
- 預金は、10兆7,310億円、前期末比+2,284億円、**年間増減率+2.2%**
- 貸出金は、7兆7,883億円、前期末比+1,887億円、**年間増減率+2.5%**

預金・NCD<北陸銀行・北海道銀行2行合算>



- 預金・NCD ■ うち個人預金 (除くNCD)
- ・ 個人預金・法人預金とも増加

貸出金<北陸銀行・北海道銀行2行合算>

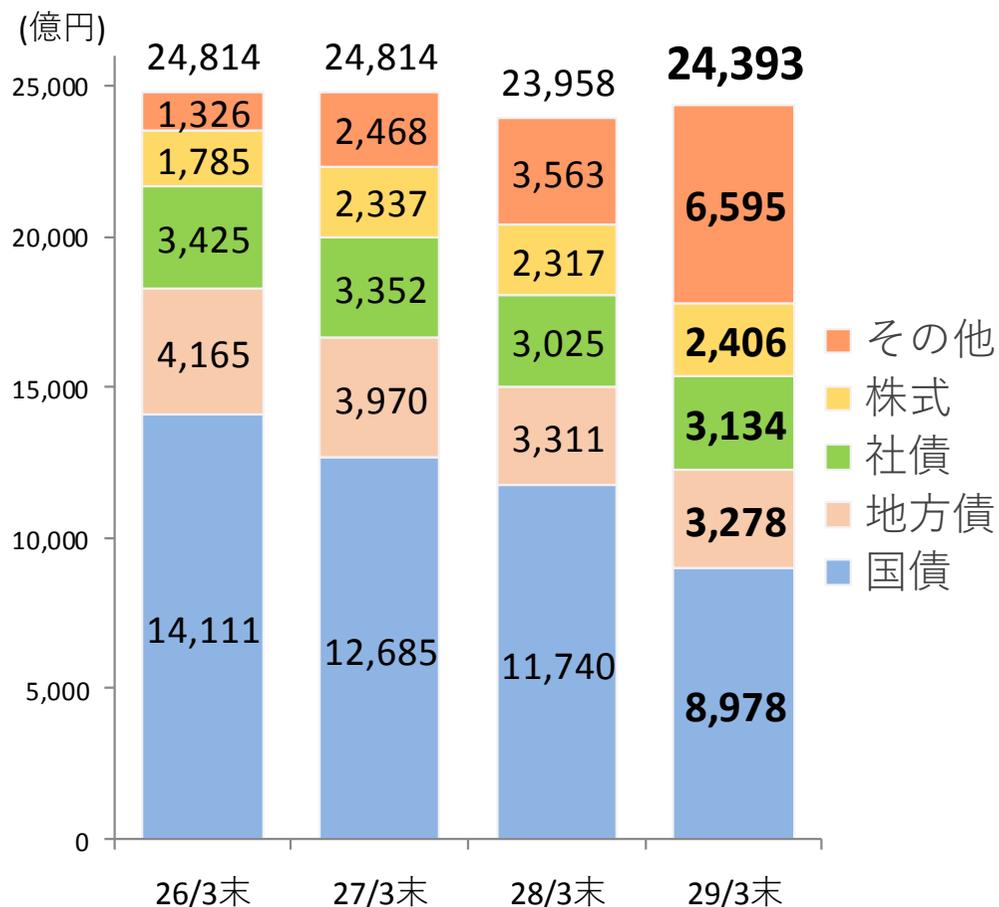


- 貸出金 ■ うち中小企業向け ■ うち個人ローン
- ・ 事業性貸出・個人ローンとも堅調に増加

有価証券

- 有価証券は、**2兆4,393億円**、前期末比**+434億円**
- うち「国債」は前期末比△2,762億円、外国債券・投資信託を主とする「その他」は前期末比+3,031億円

有価証券<北陸銀行・北海道銀行2行合算>



【有価証券の評価損益】 (億円)

	29/3末	前期末比	28/3末
有価証券	1,130	△ 35	1,166
株式	970	234	735
債券	276	△ 121	398
その他	△ 116	△ 148	32

債券 = 国債 + 地方債 + 社債

【国債・地方債】

低金利環境につき新規購入を抑制

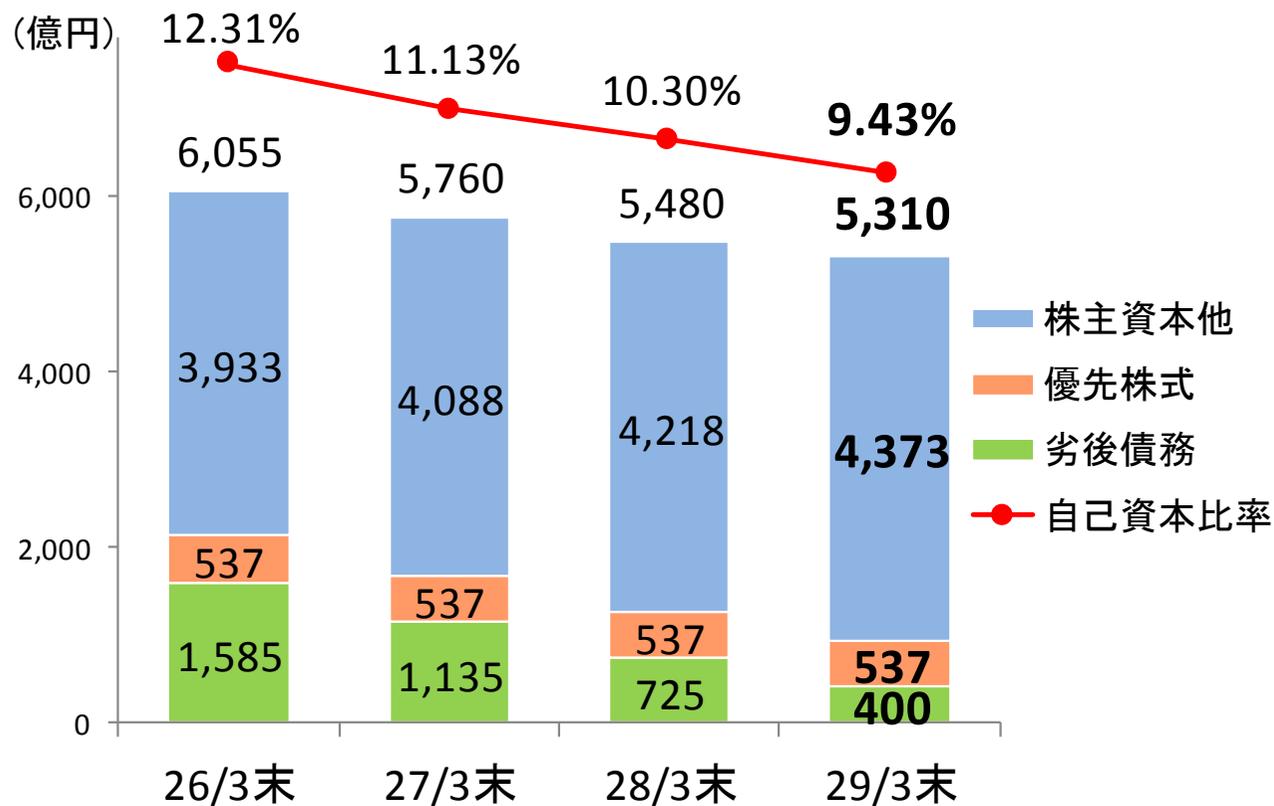
【株式・外国債券・投資信託】

市場情勢を勘案して、株式や投資信託、外国債券での運用を強化

自己資本比率

- 自己資本比率は、**9.43%**、前期末比**△0.87%**
- 劣後債務325億円の返済により自己資本が減少したことに加え、貸出金増加によるリスクアセット増加により、自己資本比率は前期末比低下

自己資本・自己資本比率<フィナンシャルグループ連結>



- 北陸銀行 : コア業務純益247億円、前期比△19億円
- 北海道銀行 : コア業務純益192億円、前期比△61億円

北陸銀行・北海道銀行 銀行別損益

	北陸銀行		北海道銀行 (億円)	
	29/3期	前期比	29/3期	前期比
経常収益	929	△ 3	789	△ 65
コア業務粗利益	729	△ 23	608	△ 68
経費(△)	482	△ 4	415	△ 6
コア業務純益	247	△ 19	192	△ 61
有価証券等関係損益	3	△ 0	△ 19	△ 17
与信費用(△)	△ 6	4	△ 0	△ 48
経常利益	248	△ 19	153	△ 46
当期純利益	187	22	109	△ 24

【主な増減要因】

	コア業務粗利益	経費	経常利益	当期純利益
北陸銀行	貸出金利息の減少、 有価証券利息配当金の増加	減価償却費の減少	国債等売買損益の減少、 株式等損益の増加	法人税等の減少
北海道銀行	貸出金利息の減少、 有価証券利息配当金の減少	減価償却費の減少	与信費用の減少	法人税等の減少

1. 当社グループご紹介

2. 29年3月期 決算概要

3. 各種取り組み

4. 30年3月期業績予想

5. コーポレート・ガバナンス

6. 参考資料

➤ **住宅ローン相談会や業者様との連携強化により、住宅ローンの積極的な積み上げを図ります**
 ~住宅ローンプラザやインターネットを活用し商品優位性・利便性をアピール

方針・施策

住宅ローンプラザ（LP）の充実、体制強化

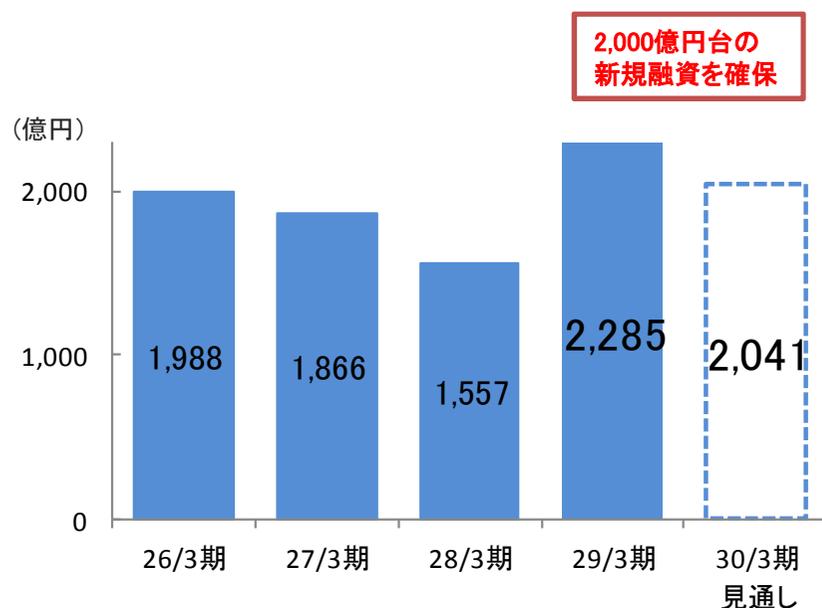
→ LP 休日営業拡大・人員増による**住宅業者様との連携強化**
 説明会開催により商品（団信）の優位性を浸透し、他行シェア奪取

インターネット申込・機能の充実

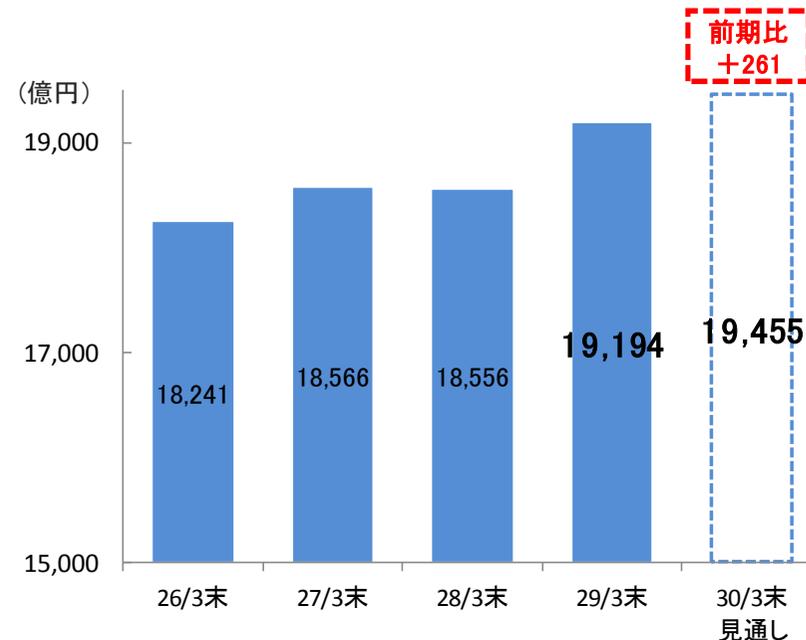
→HPからの住宅ローン事前審査の申込受付・団信受付・繰上返済など



住宅ローン 新規融資額



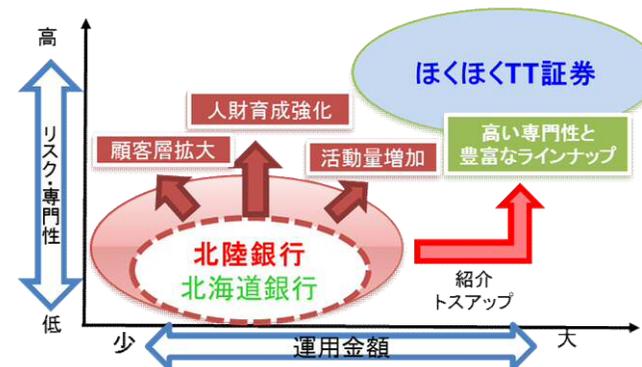
住宅ローン 残高



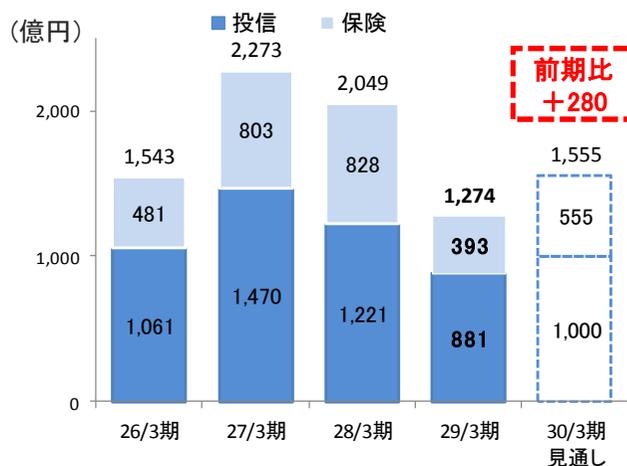
➤ **お客さまの視点に立った預かり資産の販売を行い、お客さまの資産形成をサポートします**
 ～「顧客本位の業務運営に関する原則」を踏まえた販売活動の定着

方針・施策

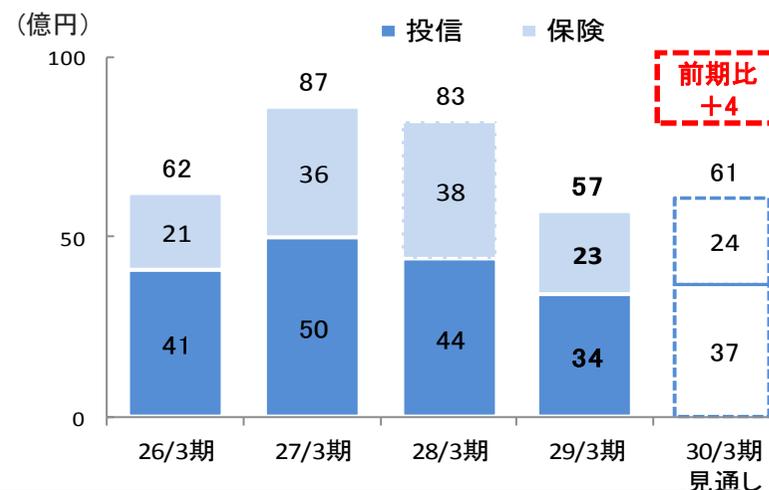
- ◆ **ライフプラン、長期的視点に立ったコンサルティング営業**
 → **MA認定制度**、ロールプレイングによるコンサル能力の向上
預かり資産販売支援システム（29年度導入）の活用
- ◆ **お客さまが安心して長期保有できる商品の推奨**
 → **iDeCo**、**積立型投信**、**コアファンド**によるお客さま層の拡大
- ◆ **お客さまにふさわしいサービスの提供**
 → 休日営業拠点（保険プラザ、ドリームセンター）による接点強化、
 P Bセンターによるコンサル営業、**ほくほくTT証券**の活用



投資信託・保険 販売額



投資信託・保険 収益額



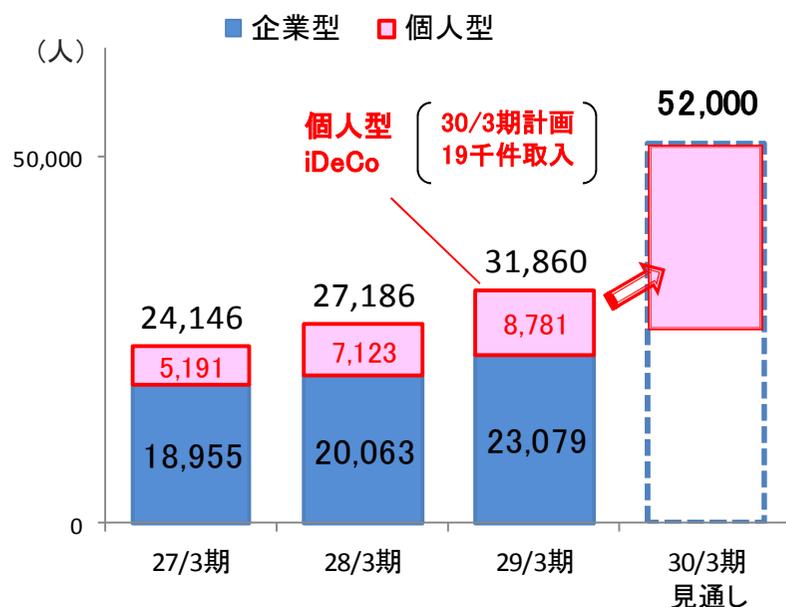
➤ 将来の資産形成に役立つ確定拠出年金を推進し、生涯にわたる取引を目指します
～「確定拠出年金（個人型）iDeCo」の推進

方針・施策

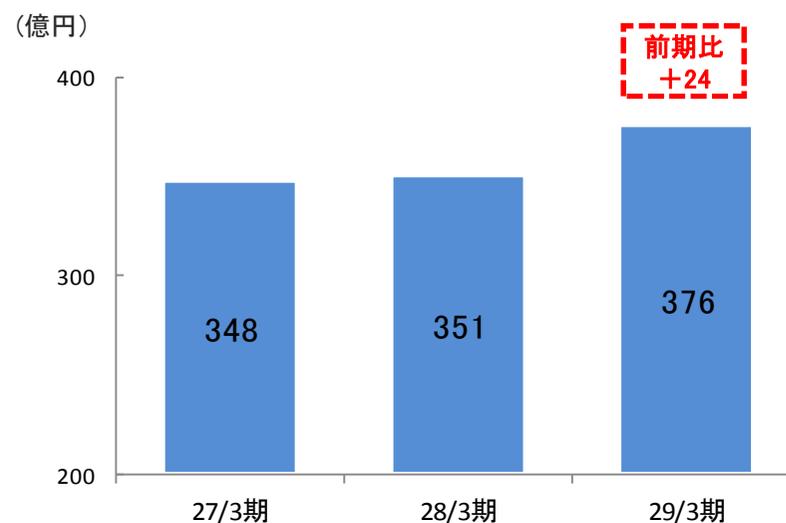
- ◆ 「確定拠出年金（個人型）iDeCo」の推進
 - 新規加入キャッシュバックキャンペーン…北陸銀行
公務員の給与振込明細へのiDeCo広告掲載…北海道銀行
- ◆ 投資教育セミナー
 - 公務員向けセミナー
職域工作や支店長セミナー開催



確定拠出年金加入者数



確定拠出年金残高



➤ 専門性の高い資産運用相談やコンサルティングサービスを実践します
～幅広いニーズに対応した商品の提供により預かり資産増強

方針・施策

◆お取引先の裾野拡大

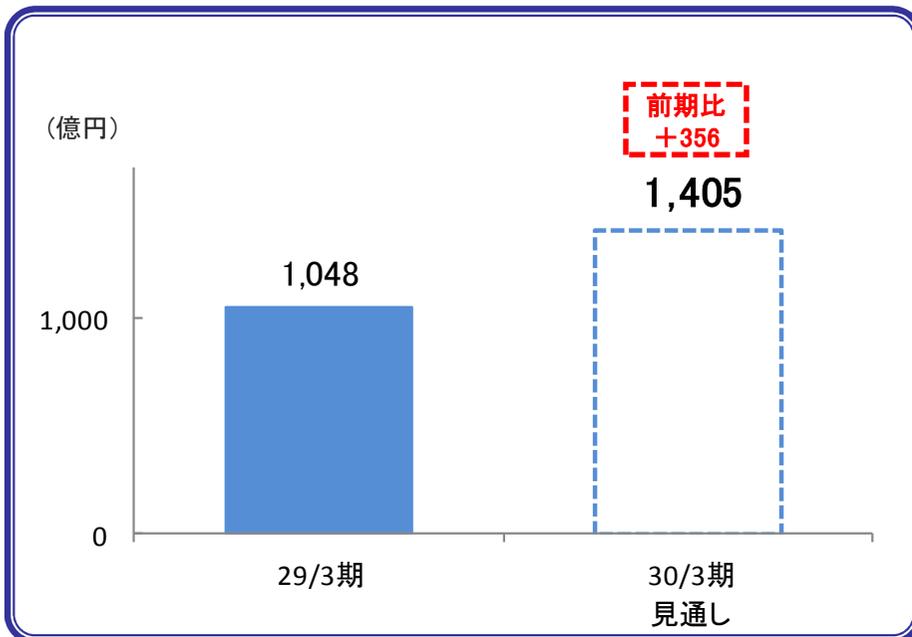
→ 顧客向けセミナーの開催、紹介顧客とのお取引の充実

◆計画的な出店とマンパワーの強化

→ 拠点拡大（旭川、福井）、ダイレクトチャネルの拡充、研修や資格取得による人財育成



預かり資産残高(ほくほくTT証券)

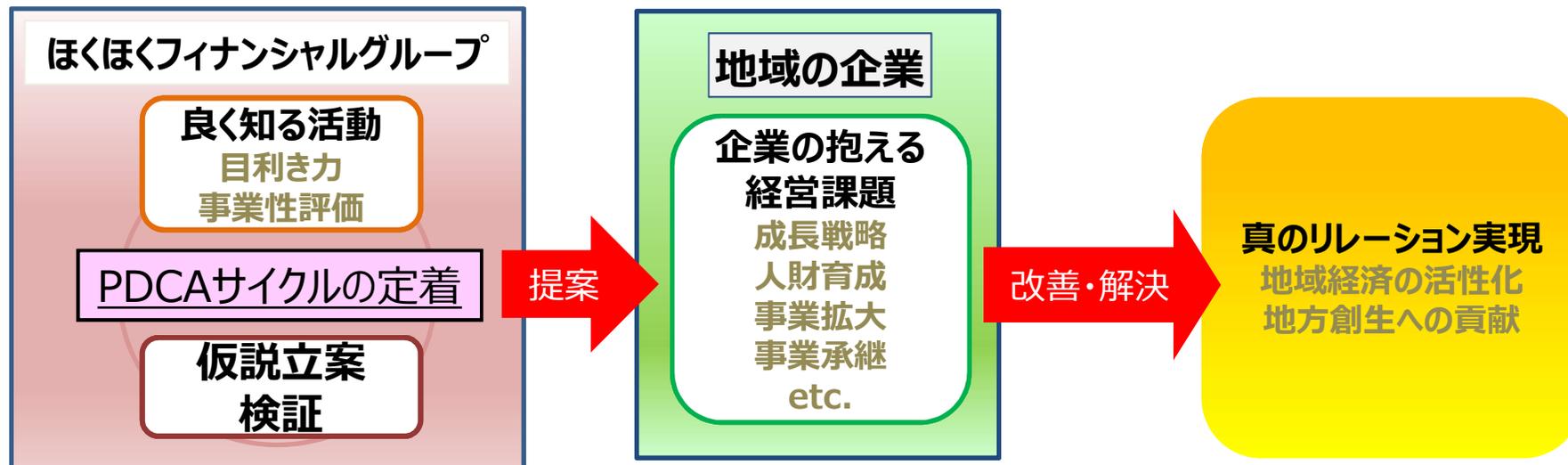


開業セレモニー(富山)



開業セレモニー(札幌)

➤ 金融仲介機能の発揮により、地域経済の活性化に取り組みます
～事業性評価に基づく融資やソリューションの提供により真のリレーションを実現



事業性評価と目利き力の向上

方針・施策

- ◆ 事業性評価の実践に向けた体制整備
 - プロセスサポートグループを新設（29年1月）…北陸銀行
 - 事業性評価室を新設（29年4月）…北海道銀行
- ◆ ICT（情報通信技術）を活用した事業性評価
 - 「V C F 財務経営力診断サービス」の運用開始（28年6月）…北陸銀行
- ◆ 目利き力向上
 - 目利き力向上に向けた研修会やコンテストを実施



目利きコンテスト

➤ お取引先の経営課題やライフステージに応じた的確なソリューション提供に取り組みます
～「事業承継支援」や「ビジネスマッチング」への取り組み

国内外のグループネットワークを活かしたソリューションの提供

方針・施策

◆創業期のサポート

→ 「ほくりく創業応援ハーモニー」の創設（29年2月）…北陸銀行
「ほっかいどう地方創生ファンド」「道銀創業支援塾」…北海道銀行

◆販路開拓支援、ビジネスマッチング

→ 国内外で販路開拓を目的とした商談会を実施
メーカーマッチングサービス、ビジネスコンテストの実施

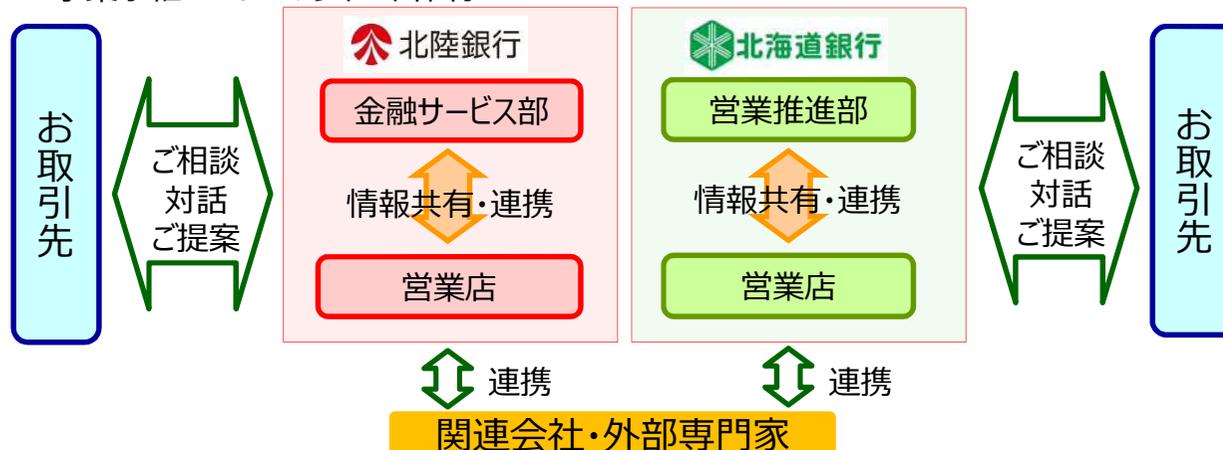
◆事業承継・M&Aのサポート

→ 本部専門スタッフ、外部専門家と連携し、事業承継やM&Aをサポート



2016遼寧省・大連ビジネス商談会

●事業承継・M & Aのサポート体制



事例

- 後継者不足の養鶏場と、レストランチェーンとのマッチング
- 医薬品製造会社と医薬品卸売業者とのマッチング
- 農産品の仕入先紹介
- 6次産業化を展望した商談会
- 食をテーマとした商談会

➤ 地方創生に向け、強みのある「北海道食ブランド」の輸出拡大を図ります
～「海外駐在員事務所」の活用、「地域密着型商社」との連携

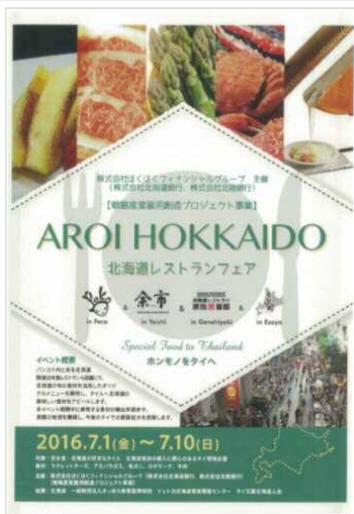
北海道食ブランドの輸出拡大

方針・施策

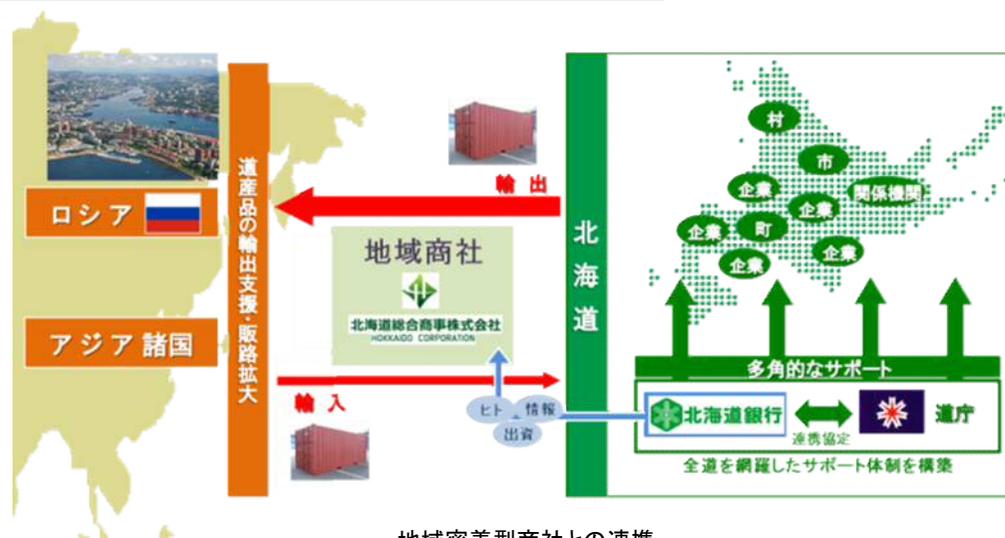
- ◆北海道レストランフェア（バンコク）
 - バンコクのレストランにおいて両行共催でフェアを開催（28年7月）
- ◆海外駐在員事務所や地域密着型商社との連携
 - 地域密着型商社「北海道総合商事株」との連携による道産品の輸出支援
道内の農業関係者が極東ロシアの農場、スーパーマーケットを視察
- ◆極東ロシアにおける温室栽培プロジェクト
 - 物流ルート構築を目的とした温室栽培計画が本格始動



現地スーパー視察（価格調査実施）



北海道レストランフェア（バンコク）



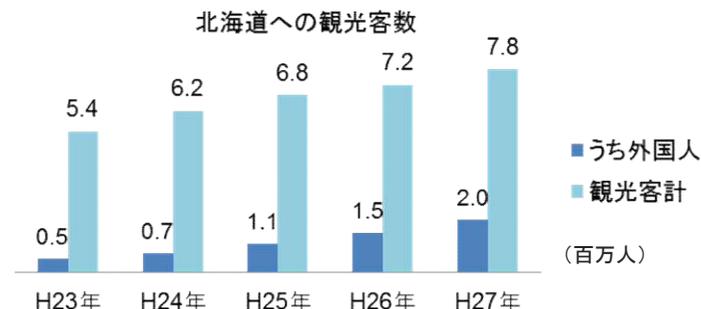
地域密着型商社との連携

➤ 増加する訪日外国人の利便性を図り、地域経済への効果波及につなげます
～「インバウンド消費」による新たな需要を取り込み

インバウンド対応の強化

方針・施策

- ◆インバウンド対応の強化に向けた取組み
 - 海外発行カード対応ATMの設置 ～11か所設置～
 - 海外通貨自動両替機の設置 ～4か所設置～
- ◆ニセコエリアに「NISEKO事務所」開設（北海道銀行）
 - 海外資本による開発やインバウンド観光客増加を契機に経済発展が目覚ましいニセコエリアにNISEKO事務所を設置し、投資動向にかかる情報収集、観光振興活動のサポートを行います



道内観光の経済波及効果は年2兆円
(北海道経済部観光局調査)



海外発行カード対応ATM



海外通貨自動両替機



倶知安町、ニセコ町との「地方創生に関する包括連携協定」の締結

延べ宿泊者数

	平成27年	前年比
富山県	399万人	+14.3%
石川県	872万人	+15.7%
福井県	416万人	+9.8%

北陸新幹線開業効果により大きく増加

※ 観光庁「宿泊旅行統計調査」、北海道経済部「北海道観光入込客数調査報告書」、訪日外国人来道者数(実人数)の推移、道銀地域総合研究所「調査ニュース」より

CSRに関する取り組み

小学生銀行体験



プラチナくるみん認定取得



マラソン大会応援



エコノミクス甲子園



ビジネスコンテスト



フットサル応援



1. 当社グループご紹介

2. 29年3月期 決算概要

3. 各種取り組み

4. 30年3月期業績予想

5. コーポレート・ガバナンス

6. 参考資料

業績予想

平成30年3月期 通期業績予想 (FG連結)

	(億円)	
	30/3期 業績予想	前年比
経常利益	355	△ 39
親会社株主に帰属する 当期純利益	235	△ 46

平成30年3月期 配当予想

	中間配当	期末配当	年間予想
普通株式	—	44円00銭	44円00銭
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭

- 平成28年10月1日を効力発生日として「普通株式10株を1株とする株式併合」を実施しております。

平成30年3月期 通期業績予想 (北陸銀行・北海道銀行)

(億円)	【2行合算】		【北陸銀行単体】		【北海道銀行単体】	
	業績予想	前年比	業績予想	前年比	業績予想	前年比
コア業務粗利益	1,320	△ 9	705	△ 24	615	6
経費(△)	925	26	490	7	435	19
コア業務純益	395	△ 35	215	△ 32	180	△ 12
与信費用(△)	40	46	20	26	20	20
経常利益	360	△ 42	215	△ 33	145	△ 8
当期純利益	245	△ 51	145	△ 42	100	△ 9

中計項目の見通し

中期経営計画 “BEST for the Region” (28年4月～31年3月)

	28年3月期 実績	29年3月期 実績	30年3月期 通期見通し	31年3月期 計画
預金平均残高 (除く譲渡性預金)	10兆1,634億円	10兆4,096億円	10兆6,119億円	10兆5,600億円
貸出金平均残高	7兆5,457億円	7兆6,848億円	7兆8,713億円	7兆7,600億円
コア業務粗利益	1,430億円	1,329億円	1,320億円	1,345億円
経費	909億円	898億円	925億円	930億円
コア業務純益	520億円	430億円	395億円	415億円
信用コスト	37億円	△6億円	40億円	60億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	288億円	281億円	235億円	230億円
連結自己資本比率	10.30%	9.43%	9%後半	9.55%
OHR (コア業務粗利ベース)	63.57%	67.58%	70.07%	69.14%

1. 当社グループご紹介

2. 29年3月期 決算概要

3. 各種取り組み

4. 30年3月期業績予想

5. コーポレート・ガバナンス

6. 参考資料

監査等委員会設置会社移行⇒経営の監督・監査の強化⇒経営の適法性・効率性向上⇒企業価値拡大

【移行後の体制】

「監査等委員会設置会社」移行（H29/6）により、以下を新たに取り入れて、ガバナンスを更に高度化

◆社外役員4名全員を「取締役監査等委員」へ

⇒重要な意思決定への関与を強化

⇒業務執行取締役の選任・報酬決定への関与を強化

◆重要な業務執行の決定を業務執行者へ権限移譲

⇒取締役会は「重要な意思決定」「業務執行監督」に専念

⇒業務執行者は「迅速」「機動的」な業務執行に専念

【移行前の体制】

「監査役会設置会社」の枠組みに、以下を取り入れて、ガバナンスを強化

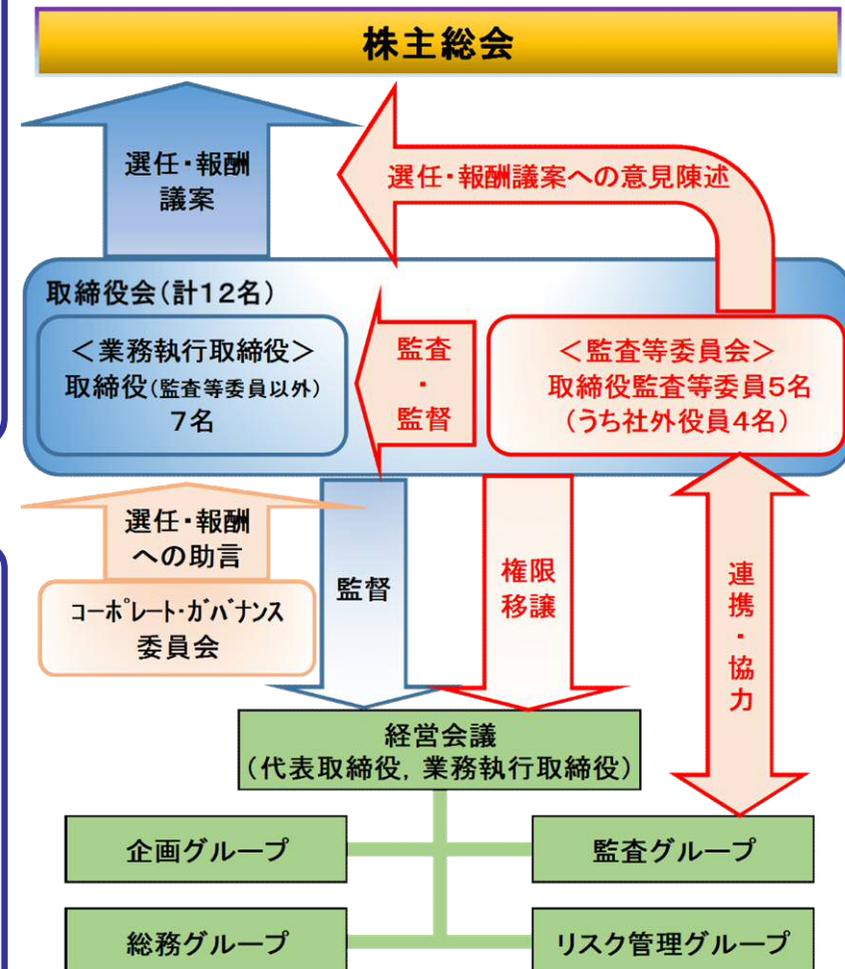
◆社外役員4名（全役員の3分の1）

- ・取締役2名，監査役2名

◆コーポレート・ガバナンス委員会（社外役員が過半数）

- ・取締役の人事・報酬等の特に重要な事項に関する助言

監査等委員会設置会社移行による ガバナンス強化(朱書き部分)



1. 当社グループご紹介

2. 29年3月期 決算概要

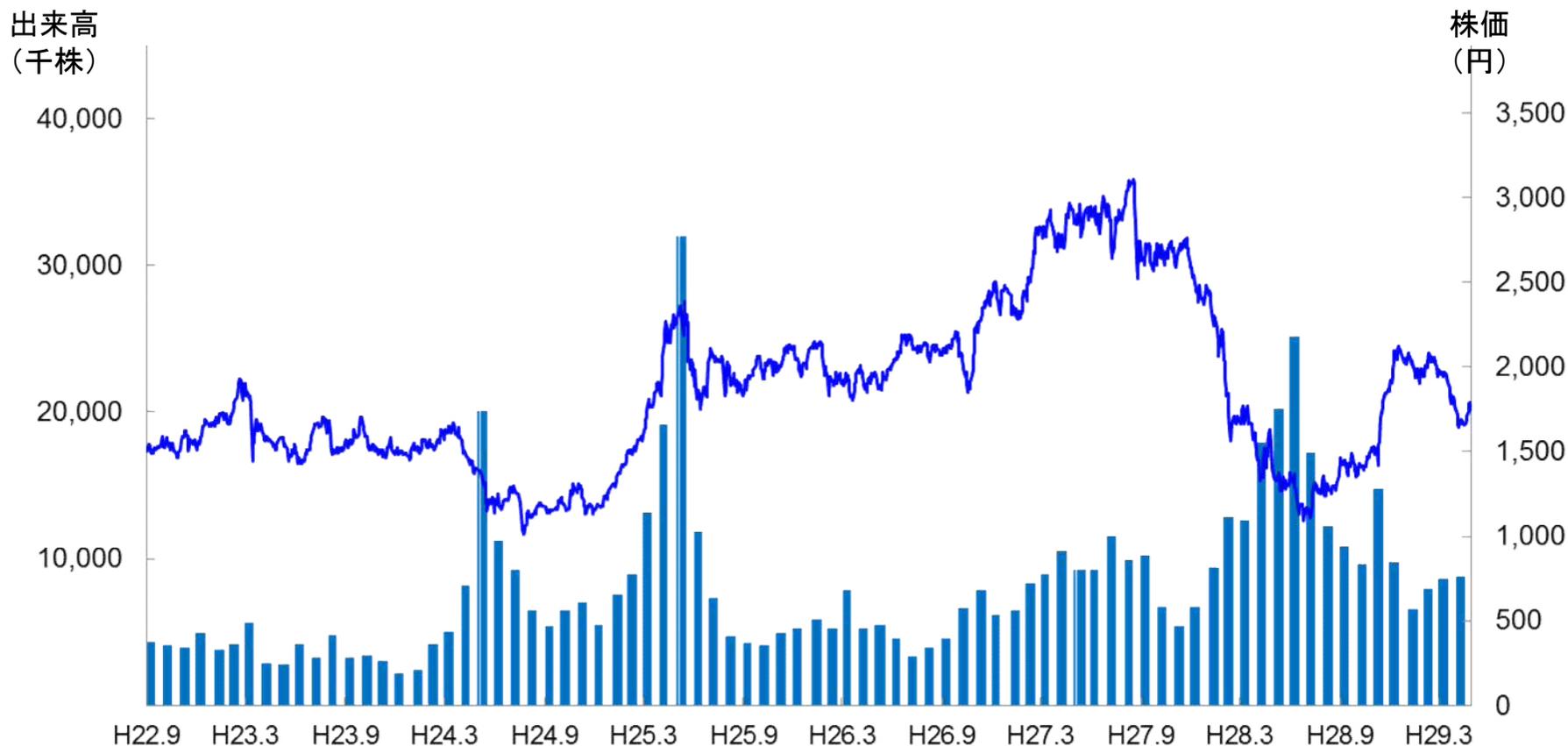
3. 各種取り組み

4. 30年3月期業績予想

5. コーポレート・ガバナンス

6. 参考資料

ほくほくFG株価の推移



	H22.3.31	H23.3.31	H24.3.30	H25.3.29	H26.3.31	H27.3.31	H28.3.31	H28.9.30	H29.3.31
当社株価	2,050	1,620	1,580	1,900	1,980	2,680	1,480	1,351	1,747
日経平均	11,089.94	9,755.10	10,083.56	12,397.91	14,827.83	19,206.99	16,758.67	16,449.84	18,909.26
TOPIX	978.81	869.38	854.35	1,034.71	1,202.89	1,543.11	1,347.20	1,322.78	1,512.60

平成28年10月1日付で、普通株式10株を1株とする併合を行っております。過去の株価については、調整を行っております。

主要経営指標の推移 (ほくほくFG)

(単位: 億円)

(ほくほくFG連結)	24/3期 通期	25/3期 通期	26/3期 通期	27/3期 通期	28/3期 通期	29/3期 通期
経常収益	2,079	1,991	1,909	1,939	1,925	1,874
経常利益	388	293	494	481	464	394
当期純利益	141	181	273	282	288	281
自己資本比率	11.72%	11.88%	12.31%	11.13%	10.30%	9.43%

(2行合算)

コア業務粗利益	1,563	1,455	1,422	1,448	1,430	1,329
経費	1,006	951	940	936	909	898
コア業務純益	557	503	482	512	520	430
有価証券等関係損益	▲ 14	4	22	69	2	▲ 7
与信費用	104	170	▲ 13	60	37	▲ 6
経常利益	405	300	485	471	467	402
当期純利益	166	195	275	282	299	296
ROA(コア業務純益ベース)	0.53%	0.47%	0.44%	0.45%	0.45%	0.36%
OHR(コア業務粗利益ベース)	64.37%	65.37%	66.08%	64.64%	63.57%	67.58%
貸出金(末残)	72,870	74,020	73,363	75,617	75,996	77,883
預金(末残)含む譲渡性預金	97,008	100,081	101,720	106,513	105,026	107,310
有価証券(末残)	24,718	24,978	24,814	24,814	23,958	24,393
金融再生法開示債権	2,368	2,367	2,013	1,892	1,686	1,562
開示債権比率	3.17%	3.11%	2.67%	2.43%	2.15%	1.94%

主要経営指標の推移 (北陸銀行)

(単位: 億円)

	24/3期 通期	25/3期 通期	26/3期 通期	27/3期 通期	28/3期 通期	29/3期 通期
経常収益	1,054	1,030	977	940	933	929
コア業務粗利益	885	823	770	765	753	729
経費	542	509	505	504	486	482
コア業務純益	343	314	264	260	266	247
有価証券等関係損益	▲ 11	▲ 12	16	36	4	3
与信費用	44	93	▲ 42	17	▲ 11	▲ 6
経常利益	274	183	304	245	267	248
当期純利益	114	123	178	146	165	187
自己資本比率	11.85%	11.78%	12.40%	10.61%	9.78%	8.74%
ROA(コア業務純益ベース)	0.57%	0.52%	0.42%	0.40%	0.40%	0.35%
OHR(コア業務粗利益ベース)	61.25%	61.84%	65.65%	65.94%	64.57%	66.12%
貸出金(末残)	42,339	43,327	42,276	43,653	43,834	44,676
預金(末残)含む譲渡性預金	55,451	57,262	59,090	60,760	61,176	62,433
有価証券(末残)	13,154	12,696	12,383	12,754	13,439	14,576
金融再生法開示債権	1,535	1,484	1,203	1,097	977	891
開示債権比率	3.53%	3.34%	2.78%	2.46%	2.18%	1.96%

主要経営指標の推移 (北海道銀行)

(単位: 億円)

	24/3期 通期	25/3期 通期	26/3期 通期	27/3期 通期	28/3期 通期	29/3期 通期
経常収益	875	816	802	854	855	789
コア業務粗利益	678	631	652	683	676	608
経費	464	442	434	431	422	415
コア業務純益	214	189	217	251	253	192
有価証券等関係損益	▲ 2	17	6	32	▲ 1	▲ 19
与信費用	59	76	28	42	48	▲ 0
経常利益	131	116	180	226	200	153
当期純利益	52	72	96	135	134	109
自己資本比率	10.80%	11.23%	10.76%	10.75%	10.23%	9.34%
ROA(コア業務純益ベース)	0.47%	0.41%	0.47%	0.53%	0.52%	0.40%
OHR(コア業務粗利益ベース)	68.44%	69.98%	66.60%	63.18%	62.47%	68.33%
貸出金(末残)	30,530	30,693	31,086	31,964	32,161	33,207
預金(末残)含む譲渡性預金	41,557	42,819	42,629	45,753	43,849	44,876
有価証券(末残)	11,564	12,282	12,431	12,059	10,519	9,816
金融再生法開示債権	833	882	810	796	709	671
開示債権比率	2.66%	2.79%	2.52%	2.40%	2.11%	1.92%

地域経済の状況

(平成29年4月)

月例経済報告(内閣府)

地域経済報告(日本銀行)

全国

北陸

北海道

景気

緩やかな回復基調が続いている

緩やかに拡大している

緩やかに回復している

公共投資

底堅い動きとなっている

増加している

緩やかに増加している

設備投資

持ち直しの動きがみられる

着実に増加している

増加に転じている

個人消費

持ち直しの動きが続いている

着実に持ち直している

回復している

住宅建設

弱含んでいる

着実に増加している

緩やかに持ち直している

生産

持ち直している

着実に増加している

概ね横ばいとなっている

雇用

改善している

着実に改善している

着実に改善している

消費者物価

横ばいとなっている

上昇に転じている

前年を上回っている

企業倒産

おおむね横ばいとなっている

落ち着いた動き

落ち着いた動き

本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ（担当：大谷）

TEL：076-423-7331

FAX：076-423-9545

E-MAIL：info@hokuhoku-fg.co.jp

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。